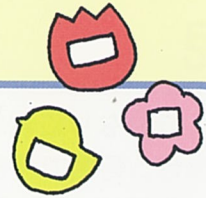


文京区版

幼児教育・保育カリキュラム ～ 3歳以上児～



子ども家庭部・教育推進部



基本方針

これまでも、保育園は保育所保育指針に、幼稚園は幼稚園教育要領に基づいた幼児教育・保育を展開してきた。また、平成20年3月の大幅な改定により、3歳児から5歳児の教育に関する内容では整合性が図られている。しかし、統一されたカリキュラムがないことで、保育園と幼稚園の内容に違いがあるかのように伝わっていたため、平成28年2月に『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』を策定した。平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定・告示されたことを踏まえ、文京区立の保育園、幼稚園、認定こども園の3歳児から5歳児までが、等しく質の高い教育・保育が受けられることを目標として策定した統一カリキュラム『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』をここに改定することとする。



基本的な考え方



文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で初めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園、伝統ある大学や学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもと関わる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、保育園・幼稚園・認定こども園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いに関わり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境に関わる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、生きる力の基礎（生活する力・人との関わり・学びの芽生え）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。

なお、リーフレットの内容は、各年齢の年度末のカリキュラムの抜粋である。

3歳児

発達の特徴

- ・ 基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分でできるようになる。
- ・ 自分を中心に考える時期でもある。
- ・ 話し言葉が豊かになり、会話を楽しむようになる。
- ・ 自分の思いを主張しながらも、友達と同じ場所で遊んだり、簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。
- ・ 基本的な運動機能が発達する。



ねらい

- ・ みんなで気持ち良く過ごすために園生活に必要なことが分かり、自分から行おうとする。
- ・ 自分の思いを出して、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・ 保育者やクラスの友達と一緒に動く楽しさを感じ、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。

経験させたい内容

生活する力

- ・ 冬の生活の仕方を知り、自分からやってみようとする。
- ・ 楽しく食事をする。
- ・ 身の回りの物の整理や遊びの片付けなど、自分のことを自分でしようとする。
- ・ 進級を楽しみにし、自分でできることを増やしていく。
- ・ 一定時間の睡眠を取る。
- ・ 寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。
- ・ 簡単な集団遊びのルールが分かり、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。
- ・ 遊具や用具を安全に使う。



* 幼稚園では、基本的に睡眠を取っていません。

生きる力の基礎

人との関わり



- ・ 相手の動きや保育者の話などから、相手にも思いがあることに気付く。
- ・ 保育者や友達のしている遊びに興味をもち、関わって遊ぶ。
- ・ 友達と声や動きを合わせてみる。
- ・ 年中児・年長児の姿にあこがれの気持ちをもち、真似ようとして、一緒に遊ぼうとする。
- ・ 友達と同じ場で遊ぶ中で、思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表す。

- ・ 保育者に励まされながら様々なことに取り組む。
- ・ みんなで気持ち良く、安全に過ごすための簡単な決まりが分かり、守ろうとする。
- ・ 遊具や用具を安全に使う。

学びの芽生え

- ・ 遊びを通して興味・関心を広げ、楽しかったことを取り入れて遊ぶ。
- ・ 冬から春の自然に触れ、冷たさや寒さ、暖かさ、春の訪れを体で感じる。
- ・ 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。
- ・ 保育者や友達と簡単なクイズや反対言葉などを楽しみ、言葉を使う楽しさを味わう。
- ・ 絵本やお話のイメージをもち、なりたい物になって自分なりの表現を楽しむ。
- ・ みんなと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。
- ・ リズム遊びや表現遊びに喜んで参加し、自分なりに表現しようとする。
- ・ 自然物も含め様々な素材に触れ、試したり見立てたりして楽しむ。



4 歳児

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣が自分でできるようになる。 ・ 周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、物事、事象と触れ合う中で、友達と一緒に発見したり、工夫しながら遊びを広げる。 ・ 友達と関わり、遊ぶことの楽しさが分かり、相手の思いや自分の感情に気付いていく。 ・ 言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝え、一緒に遊びを楽しんでいく。 ・ 決まりや危険なことが分かり、約束を守って行動していく。 ・ 運動のバランス、コントロールが取れるようになり、ボール投げなど 2つの動きをつなげて行う協応動作も上手に行えるようになる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの決まりを守り、進級することへの期待や自信をもつ。 ・ クラスの友達と一緒にいろいろな活動をする中で、つながりを感じて遊んだり、行動する。 ・ 自分たちで遊びに必要な場や物を作って遊ぶことを楽しむ。
<p>経験させたい内容</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生活する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の大まかな見通しが分かり、自分でできることは自分でしようとする。 ・ 自分の健康に関心を持ち、手洗い、うがいを進んで行う。 ・ 必要に応じて自分で衣服の調整をする。 ・ 自分の健康に関心を持ち、いろいろな食材を食べようとする。 ・ 食事のマナーに関心を持ち、気を付けて食事をする。 ・ 落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。 ・ 行事を通して伝統的な日本の食文化を経験する。 ・ 寒さに負けず、戸外で全身を動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 自分なりのめあてをもって運動遊び（フープ、縄跳び、固定遊具など）に取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。 ・ 卒園式・修了式に参加をして年長児の修了を祝い、進級への期待感を高め、自信をもって行動する。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生きる力の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の中で自分の思ったことや考えたことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。 ・ 一緒に遊ぶ友達と場や必要な物を作り、自分たちで簡単な遊びの流れを作りながら遊ぶ。 ・ クラスのみんなで活動することを楽しみ、つながりを感じたり、満足感を味わったりする。 ・ 年長児との交流や当番の引き継ぎなどを通して、年長になることへの期待をもつ。 ・ 友達の刺激を受けながら、自分なりの遊び方を工夫し、繰り返し楽しむ。 ・ 生活の中でして良いこと、悪いことを自分なりに考え、簡単なルールを守ろうとする。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学びの芽生え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びに必要な物や場を作り、友達と一緒に遊ぶ。 ・ 雪や氷、霜柱など冬の自然に触れ、自然の不思議さや面白さを感じる。 ・ 身近な自然に触れ、春の訪れを感じる。 ・ いろいろな遊びの中で記号や文字、形、数字などに興味をもつ。 ・ 場面に合わせていろいろな言葉を使う。 ・ 友達と言葉で伝え合う楽しさを感じる。 ・ 絵本や紙芝居、お話などを喜んで聞き、ストーリーの展開を楽しみにする。 ・ 年長組に言葉や歌、製作などを通して、感謝の気持ちを伝えようとする。 ・ 劇遊びなどに必要な物を保育者や友達と一緒に作り、作った物を使って表現して遊ぶ。 ・ 様々な素材に親しみ、自分で材料を選び、工夫して作ろうとする。 ・ いろいろな遊具を使い、イメージに合った場を自分たちで作ろうとする。

5歳児

発達の特徴

- ・自分なりに判断する力が生まれ、自分と違う思いや考えを認め、社会生活に必要な力を身に付け、行動できるようになる。
- ・生活や遊びに見通しをもち、友達と相談し、共通の目的や課題に向かって取り組むようになる。
- ・時間を意識した生活に見通しをもち、就学に向けて期待を高めていくようになる。
- ・運動機能はますます伸び、全身運動が滑らかで巧みになる。
- ・細かい指先の動きが滑らかになり、用具の扱い、操作ができるようになる。



ねらい

- ・生活の中で充実感をもって行動する。
- ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信をもって園生活を進めていく。
- ・繰り返し挑戦して取り組む中で、目的や課題を達成し、意欲をもつ。

経験させたい内容

生活する力

- ・一日の生活や就学までの見通しが分かり、自信をもって取り組むことができるようにする。
- ・時間を意識しながら生活に見通しをもち、今、何をすべきか、自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。
- ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く。
- ・自分の決めた目標に向かって繰り返し挑戦する。
- ・就学を意識して朝、帰りの集まり時に集中して話を聞くようにする。
- ・卒園・修了に向けた活動の中で、園生活が終わることを感じたり、小学校生活への意識を高めたり、期待をもったりする。
- ・安全な遊び方や場所が分かり、自分で判断して安全に行動しようとする。
- ・見通しをもって園生活を進める。



生きる力の基礎

人との関わり

- ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話も聞いて受け止めていく。
- ・友達の心情に気付き、お互いを生かし合って遊ぼうとする。
- ・クラスとしてのつながり、充実感、達成感を味わう。
- ・繰り返し挑戦し、達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて自信をもつ。
- ・園生活を振り返り、自分に多くの人に関わってくれたことを知り、感謝の気持ちをもつ。
- ・年下の子どもへの関わり方を自分なりに考えたり、自分の知っている事を教えたりする。



学びの芽生え

- ・クラスや個々の課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。
- ・友達と協力し、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。
- ・自分たちで見通しをもって遊びや生活を進め、やり遂げる満足感を味わう。
- ・冬から春の自然の変化に気付き、不思議さや面白さを感じたり、興味をもって調べたり、予想したり、試したりする。
- ・日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心をもち、遊びや生活の中で使っていく。
- ・遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。
- ・困ったことがあれば自分で尋ねたり、集中して人の話を聞こうとしたりする。
- ・素話や継続性のある物語を楽しみにし、喜んで聞く。
- ・言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ友達と一緒にこれらを使う楽しさを味わう。
- ・クラスや学年の友達全員で気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。
- ・様々な素材に親しみ、用具を使って、自分のイメージを工夫して表現する。
- ・日本の良さを感じるとともに、他国への親しみももつ。



Q & A

区立の幼稚園や保育園では幼児にどんな力を育てていますか？

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な物です。そこで下記のような力を育てていきます。

- ・健康な心と体を育てます。
- ・人とかかわる力や思いやる心を育てます。
- ・興味をもって取り組む力、頑張る力を育てます。
- ・聞く力、話す力を育てます。
- ・伸び伸びと表現する力を育てます。



Q & A

なぜ遊びを大切にしているのですか？

遊びは、幼児が自らの興味や関心をもって取り組む自発的・主体的な活動です。その中で好奇心・探究心が育まれ、友達と協力する大切さなどを学び、集中して取り組む力が育ちます。幼児期に夢中になって遊んだ体験が小学校以降の「学習の基盤」となります。



Q & A

小学校就学に向け、どのような教育をしていますか？

幼児期に大切な学びのスタイルは特定の活動を取り出して教えることより、興味・関心に沿って幼児自身が学びとることが重要と考えます。様々な活動の中には小学校の学習につながる内容は十分含まれています。「知りたい」気持ちを育み、小学校への憧れをもつよう連携を進めています。

